

# 三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第3期第3四半期(平成19年4月1日～平成19年12月31日)



Quality for You



## 業績のポイント

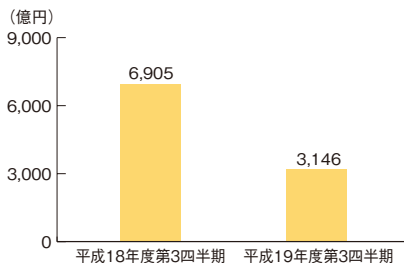
- 連結四半期純利益(平成19年4月～12月)は、与信関係費用の総額が3,344億円の「費用」となったことや三菱UFJニコスの構造改革損失引当金の計上等を主因に、前年同期比3,758億円減少の3,146億円
- 不良債権比率は、平成19年9月末比0.07ポイント低下の1.21%。連結自己資本比率は、同0.55ポイント低下の11.99%となったが、引き続き強固な財務基盤を維持
- サプライム関連商品への投資等に伴う損失は約550億円

### 〈損益の状況〉

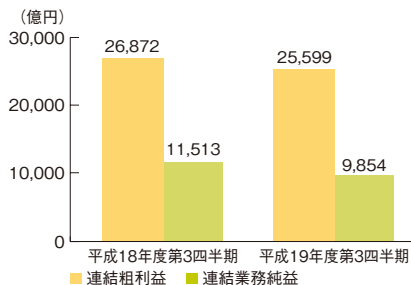
連結粗利益は、サブプライムローン問題や株式市場の低迷など金融市場を取り巻く環境変化の影響などから前年同期比1,273億円減少し、2兆5,599億円となりました。また、保険業務などの新業務開始に伴う人員の増加やシステム関連経費の増加、コンプライアンス態勢の強化等を主因に、営業費が前年同期比385億円増加した結果、連結業務純益は前年同期比1,659億円減少の9,854億円となりました。

連結四半期純利益は、前年同期に67億円の「益」を計上していた与信関係費用総額が、当四半期は3,344億円の「費用」となったことや、中間期における三菱UFJニコス関連の構造改革損失引当金の計上などもあり、前年同期比3,758億円減少し、3,146億円となりました。

### 連結四半期純利益



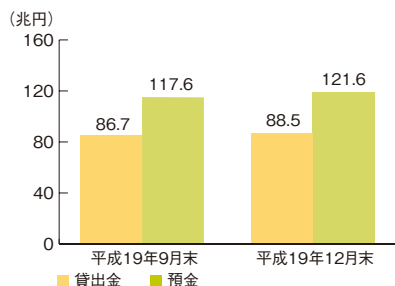
### 連結粗利益・連結業務純益



(注) 計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。

従って、説明文中の増減数値とグラフ・表中に表示された計数を加減した場合の差異が一致しないことがあります。

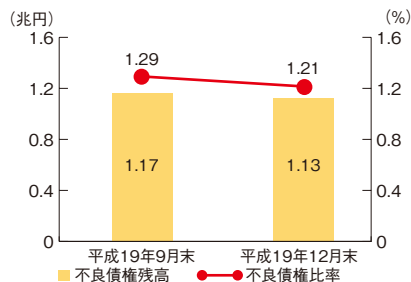
### 貸出金・預金



### 〈貸出金・預金の状況〉

貸出金は、国内・海外貸出とも増加し、平成19年9月末と比べ、1.7兆円増加の88.5兆円となりました。預金は、国内個人預金および海外預金が増加し、3.9兆円増加の121.6兆円となりました。

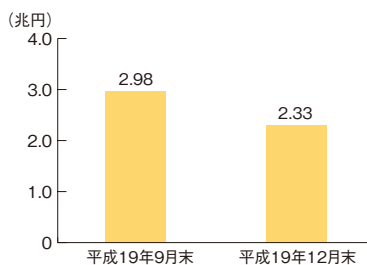
### 不良債権残高・比率



### 〈不良債権の状況〉

不良債権比率は、不良債権処理の進捗、お取引先企業の債務者区分の上位遷移（格上げ）などにより、平成19年9月末と比べ、0.07ポイント低下し、1.21%となりました。不良債権残高も平成19年9月末と比べ、0.04兆円減少し、1.13兆円となりました。

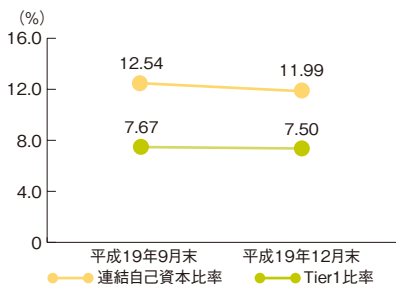
### 有価証券の含み損益



### 〈有価証券の含み損益の状況〉

株式の含み益減少等により、有価証券の含み損益合計（その他有価証券評価差額）は、平成19年9月末比0.64兆円減少の2.33兆円となりました。

### 連結自己資本比率



### 〈連結自己資本比率の状況〉

連結自己資本比率は、自己株式の取得、有価証券含み益の減少などから、平成19年9月末と比べ、0.55ポイント低下し、11.99%となりました。また、中核的な自己資本の比率を示すTier1比率も同0.16ポイント低下し、7.50%となりました。

### サブプライムローン関連商品およびSIV\*への投資状況等について

平成19年度第3四半期におけるサブプライム関連商品およびSIV投資の損益への影響額は、保有SIV投資の減損等を主因として約550億円の損失となりました。

平成19年12月末時点でのサブプライム関連(除くSIV)の投資残高は、約2,430億円、評価損は約300億円となっています。なお、12月末時点のサブプライム関連(除くSIV)投資の格付は、トリプルA格が96%を占める状況です。

SIVへの投資残高は、格付低下および市況悪化に伴う減損等により、平成19年9月末比500億円減少の約390億円、減損後の評価損は約10億円です。

\* SIV (Structured Investment Vehicle)とは、劣後債や短期のコマーシャルペーパー(CP)等で投資資金を調達する一方、比較的長期の証券化商品や社債などに投資し、運用と調達の利回り差で収益を得ることを主目的とする投資会社のことです。

サブプライムローン関連(除くSIV)投資	平成19年9月末	平成19年12月末
投資残高	約2,590億円	約2,430億円
評価損益	約△80億円	約△300億円

SIV投資	平成19年9月末	平成19年12月末
投資残高	約890億円	約390億円
評価損益	約△180億円	約△10億円

# 平成19年度第3四半期の業績について

(単位：億円)

損益の状況 (連結)	平成18年度第3四半期 (平成18年4月～12月)	平成19年度第3四半期 (平成19年4月～12月)
連結業務粗利益 (信託勘定償却前)	26,872	25,599
うち資金利益	13,798	13,859
うち役員取引等利益	8,399	7,961
営業費	15,359	15,745
連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	11,513	9,854
臨時損益 (△は費用)	△ 1,872	△ 3,317
うち与信関係費用	△ 1,332	△ 3,458
うち株式等関係損益	179	369
経常利益	9,639	6,650
特別損益 (△は損失)	1,862	△ 329
うち償却債権取立益	947	312
うち貸倒引当金戻入益	1,400	-
うち構造改革損失引当金繰入額	-	△ 624
法人税等+法人税等調整額	3,895	2,627
少数株主利益	701	546
四半期純利益	6,905	3,146

与信関係費用総額 (△は費用) (信託勘定償却+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用+貸倒引当金戻入益)	67	△ 3,344
--------------------------------------------------------	----	---------

資産・負債の状況 (連結)	平成19年9月末	平成19年12月末
資産の部	1,898,944	1,952,740
うち貸出金	867,510	885,074
うち有価証券	429,902	436,180
負債の部	1,793,199	1,850,734
うち預金	1,176,308	1,216,107
純資産の部	105,744	102,005

連結自己資本比率の状況 (第一基準)	平成19年9月末	平成19年12月末
自己資本比率	12.54%	11.99%
Tier1 比率	7.67%	7.50%
自己資本	134,564	129,578
Tier1	82,307	81,128
総所要自己資本額	85,816	86,453

# 新システムへの移行について

三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行では、平成二十年から新システムへの移行を開始します。多数のお客さまとお取引のある金融グループとして、安全・確実なシステム移行に向け万全を期してまいります。

## 三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行では、平成二十年五月以降順次、新システムへの移行\*を予定しています。これまで同行の商品・サービスは、店舗やATMにおいてお取り扱いが異なっていました。新システム移行後は統一され、より快適にご利用いただけるようになります。

新システムへの移行に伴い、現在ご利用いただいている商品・サービスのお取扱内容の一部を変更させていただきます。ご了承ください。

変更内容につきましては店

頭のパンフレットやホームページに加え、一部の商品・サービスについてはご利用の

お客さまへ、順次ダイレクトメールにてご案内しています。

また、新システムへの移行作業のため、平成二十年二月以降、同行ATMなどオンラインサービスを一時休止させていただきます。

ご不便をおかけして誠に申し訳ございませんが、何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。

\*新システムへの移行時期については、お取引店によって異なります。詳しい日程や内容については、今後、店頭・ホームページ等でご案内いたします。

### 問い合わせ先 -----

[ 統合照会センター ]

☎: 0120-536-105 または  
03-5326-7976 (通話料有料)

受付時間: 月～金曜日 9:00～17:00  
(土・日・祝日等の銀行窓口休業日を除く)

[ キャッシュカードの盗難・紛失などに伴う取引停止の申し込み、ダイレクトバンキングの照会は

☎: 0120-860-777

受付時間: 24時間365日  
(サービスによって一部ご利用いただけない時間帯がございます)

ホームページ:  
<http://www.bk.mufg.jp/>

さらにおトクに！

「メインバンク」総合サービス  
の同行ATM時間外手数料が  
優遇される運用資産残高の条  
件が、「五十万円以上」から  
「十万元以上」に引き下げとな  
ります。（平成二十年五月以降）

もっとも気軽に！

「オールワン\*」の提携先コ  
ンビニATMご利用手数料が  
優遇される運用資産残高の条  
件が、「五百万円以上」から  
「五十万円以上」に引き下げと  
なります。また、優遇は月三

回までの制限がありました。が、  
優遇適用月であれば回数に制  
限なく優遇させていただきます。  
（平成二十年七月以降順次）

\*新システムへの移行後、  
「オールワン」は「メイン  
バンク」総合サービスに変  
更となります。

## 三菱UFJ信託銀行

三菱UFJ信託銀行では、  
預金・信託・為替等の基幹シ  
ステムを旧三菱信託銀行のシ  
ステムに一本化します。シス  
テム切替にあたっては、旧  
UFJ信託銀行の店舗を二回  
に分けて実施します。一回目  
の切替は、平成二十年一月に  
四店舗で終了しており、二回  
目は平成二十年五月に実施す  
る予定です。

システム切替が完了します

と、同一のサービスをご利用  
いただける店舗が広がるなど、  
お客さまの利便性が向上いた  
します。それまでしばらくの  
間、店舗によっては、お手続  
きが取り次ぎとなったり、  
ATMの記帳ができないなど  
のご迷惑をおかけしますが、  
何とぞご理解を賜りますよう、  
お願いいたします。

### システム切替が完了すると…

平成20年5月以降は、三菱UFJ信託銀行の全店で、お  
取引店と同様にお手続きいただけるようになります（投資  
信託等の一部の取引を除きます）。

### 特にお手続きは不要です

お客さまにおかれましては、システム切替に関して、さしあ  
たってお手続きをしていただく必要はありませんが、ご来店の  
折には、一部通帳の切替などお手続きをお願いする場合もあ  
りますので、あらかじめご了承ください。

### 問い合わせ先

[ 統合お問い合わせダイヤル ]

☎: 0120-349-700

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00（土・日・祝日等を除く）

※ご利用は平成20年6月30日（月）までとさせていただきます。

[ キャッシュカード、通帳、証書、印鑑などを紛失した場合 ]

☎: 0120-222-700 受付時間：24時間365日

ホームページ：<http://www.tr.mufg.jp/>

最新情報については、各社ホームページをご覧ください。

## 「金融経済教育支援プログラム」を開発

MUFJでは、CSR活動の重点領域のひとつとして、「次世代社会の担い手育成」を掲げています。この取り組みの一環として、「金融」や「経済」のしくみ、「お金の大切さ」を楽しく学習できる機会を子どもたちに提供するため、平成二十年二月に、国立大学法人筑波大学とともに



に、「金融経済教育支援プログラム」を開発しました。このプログラムは、利用方法などを解説したWebサイト『金融経済を学ぼう』と、教員用のDVD付指導案を活用してご利用いただくものです。

小学校五〜六年生での授業を対象としており、「使う」「貯める」「借りる」というテーマでお金の大切さや基本的な機能を学び、そのうえで、少人数のグループごとに模擬店を運営し、経済活動の基本的な働きを理解していただくプログラムとなっています。



<http://www.kinyu-keizai.jp/>

プログラムの開発には、総合監修者として筑波大学副学長・谷川彰英氏にご参画いただくとともに、授業実践・モデル指導





案の作成には、筑波大学附属小学校や学校放送番組等の開発を手がけている株式会社NHKエデュケーショナルのほか、多くの教育専門家の方々に携わっていただきました。

## 「エコプロダクツ2007」に出展

平成十九年十二月に東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2007」（主催：社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社）に、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJ証券が共同ブースを出展しました。「エコプロダクツ」とは、企業活動における環境への取り組み、環境配慮製品・サービスの普及や販促、環境技術や環境ソリューション情報の発信・交流の機会として、毎年開催されている展示会で、今回で九回目となります。

MUFグループ四社が初めて共同で出展した今回は、銀行、信託、証券の各社から、環境融



資、排出権信託、CDMコンサルティングといった金融を通じて環境への取り組みを中心にプレゼンテーションを行い、ご来場された多くの方々から関心を寄せていただきました。

# 株主優待制度がスタートしました。

- ・平成20年1月4日(金)から株主優待制度(「MUFG株主倶楽部」)の優待サービスの提供を開始しました。
- ・優待サービスの内容やご利用方法などに関しましては、昨年12月下旬に対象株主の皆さまにお送りしました「優待サービスご利用ガイド」をご参照ください(株主優待制度の詳細につきましては、当社ホームページ <http://www.mufg.jp/investors/programs/>でもご紹介していますので、ぜひご覧ください)。
- ・初年度の優待サービスのご利用可能期間は、平成20年12月30日(火)までとなります。この日を過ぎますと、初年度の優待サービスはご利用いただけなくなりますので、ご注意ください。

## 「ピーターラビット™ オリジナル 小物入れ」をこれからお申し込みされる株主さまへ

- ・「ピーターラビット™ オリジナル 小物入れ」につきましては、当社の想定を大幅に上回る株主さまからお申し込みを頂戴いたしました関係で、お申し込みいただいてからお届けまでお時間を頂戴することが想定されます。あらかじめご理解・ご了承賜りたくお願い申し上げます。

# アンケートのお願い

当社では、株主優待制度（「MUFG株主倶楽部」）に関するアンケートを実施させていただきます。大変お手数ですが、下記のアンケートはがきの質問事項にご回答をご記入のうえ、ご返送くださいようお願い申し上げます（はがき部分を切り取って、そのままご投函ください）。また、下記URLよりアンケートサイトにアクセスしていただき、ご回答いただくこともできます。（誠に勝手ながらアンケートの締め切りを平成20年4月30日着までとさせていただきます）本アンケートの結果は、今後の優待サービスの参考とさせていただきます。株主の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

URL:<https://www.net-research.jp/343844/mufgir>

----- ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます -----

## 株主優待制度に関するアンケートのお願い

（○をおつけください）

### Q1. 株主優待制度の導入についてご意見をお聞かせください

1. 評価している
2. 評価しているが内容に魅力がない
3. 評価できない
4. どれもでない・関心がない

### Q2. Q1で、「2. 評価しているが内容に魅力がない」「3. 評価できない」を選ばれた方にお伺いします。その理由は何でしょうか

### Q3. 個々の優待サービスに対する評価をお聞かせください （数字をご記入ください）

1. 評価できる
2. 評価できない
3. どちらでもない

定期預金の金利優遇 ( )

外貨預金の為替手数料割引 ( )

株式等売買委託手数料割引 ( )

遺言信託取扱手数料割引 ( )

オリジナル小物入れ贈呈 ( )

ビジネスセミナー無料招待 ( )

### Q4. 今後希望される優待サービスの内容や ご意見・ご要望などをお寄せください

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:http://www.mufg.jp/

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、  
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター

Tel:0120-232-711(通話料無料)

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

郵便はがき

料  
金  
受  
取  
人  
払  
郵  
便

1 3 7 8 6 8 2

013

新東京支店  
承 認  
  
2004

新東京支店私書箱第29号

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ  
株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 行

差出有効期間  
平成20年10月  
31日まで  
切手は不要です。



該当する番号を○で囲んでください。

ご年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代
	6. 60代	7. 70代以上			
お住まいの地域	1. 北海道	2. 東北	3. 関東	4. 中部	5. 近畿
	6. 中国	7. 四国	8. 九州・沖縄		
性別	1. 男	2. 女			
ご職業	1. 会社員・公務員	2. 会社役員	3. 自営業	4. 専門職	
	5. 無職	6. 主婦	7. 学生	8. その他( )	
ご所有株式数 ( )株	当社株式保有期間	1. 1年未満	2. 1年以上2年未満		
		3. 2年以上5年未満	4. 5年以上		
三菱東京UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行のご利用状況					
1. メインバンク(主取引銀行)としてご利用					
2. メインバンクではないがご利用					
3. お取引なし					

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます



平成20年3月発行  
本誌はFSC認証紙、大豆インキを使用しています。